

4. 改訂と今後の展開

- (1) サステナビリティへの取り組み
- (2) 意見集約や評価のしくみと改訂
- (3) 規定的・プロジェクト的・ゾーニング的マスタープランから、より骨格的・手続き的なフレームワークへ



4. 改訂と今後の展開

(1) サステイナビリティへの取り組み

- ・ 省エネ低炭素、廃棄物低減 → 設備的取組、建築的取組

広義にとらえると…

- ・ 災害への対応（BCP、空間のロバスト性… 空地や避難経路等）
- ・ 歴史的資源、空間・環境資源など、地域共有財産
- ・ 学生の獲得（福利厚生やキャンパス景観など）
- ・ ステークホルダーとの関係性
- ・ 経営のサステイナビリティ



4. 改訂と今後の展開

(2) 意見集約や評価のしくみと改訂

キャンパスイメージアンケート：

共用性の高い屋外空間とキャンパス全体像、特に近年整備した部分について、2～3年おきに継続的に満足度を調査する。

A) キャンパスの屋外空間の全体的なイメージについて

	豊中		吹田		箕面		全体	
	満足度	加重平均満足点	満足度	加重平均満足点	満足度	加重平均満足点	満足度	加重平均満足点
1) 入りやすい雰囲気かどうか	59%	0.7	42%	0.3	22%	▲ 0.6	46%	0.3
2) キャンパス全体の案内標識類(サイン)について	39%	0.0	25%	▲ 0.4	28%	▲ 0.4	32%	▲ 0.2
3) 防犯上の問題について	21%	▲ 0.4	17%	▲ 0.4	14%	▲ 1.0	18%	▲ 0.5
4) 歩行者のバリアフリー(車椅子・杖・重たい荷物をもったときなど)の危険性や不便さ	32%	▲ 0.1	22%	▲ 0.5	14%	▲ 1.1	25%	▲ 0.4
5) 美しさについて	43%	0.1	36%	▲ 0.1	34%	▲ 0.2	39%	▲ 0.0
6) 親しみやすさについて	52%	0.4	21%	▲ 0.2	38%	▲ 0.2	38%	0.1
7) 居心地の良さについて	61%	0.5	31%	▲ 0.0	40%	▲ 0.1	46%	0.2
8) 清掃の状況について	73%	0.9	49%	0.4	50%	0.3	60%	0.6
9) 樹木などの剪定や除草などの状態について	69%	0.8	48%	0.4	62%	0.7	60%	0.6
10) キャンパス内でのマナー(学生・教職員・その他)	45%	0.2	31%	0.1	53%	0.6	41%	0.2
平均値	49%	0.3	32%	▲ 0.1	36%	▲ 0.2	41%	0.1



※ここでの「満足度」とは、「満足」または「やや満足」と回答した者の割合

4. 改訂と今後の展開

(2) 意見集約や評価のしくみと改訂

B) 近年行われた屋外空間改修について、キャンパス環境向上への寄与の程度								
利便性・快適性					美しさ			
	回答数	評価方法	満足度	加重平均満足点	回答数	満足度	加重平均満足点	
1) 文法経中通り周辺(平成21年度整備)	141	通行しやすさ	75%	1.2	135	82%	1.4	
2) スチューデント commons 南側(平成21年度整備)	132	居心地の良さ	55%	0.8	129	67%	1.0	
3) 豊中キャンパス東口(平成20年度整備)	125	通行しやすさ	54%	0.7	125	62%	0.9	
4) 豊中総合学館1階ピロティ(平成19年度整備)	129	居心地の良さ	50%	0.5	130	57%	0.7	
5) 理工学図書館改修(ピロティ)(平成20年度整備)	91	居心地の良さ	65%	1.0	90	71%	1.1	
6) 病院北通り歩道整備(平成21年度整備)	81	通行しやすさ	43%	0.4	79	49%	0.6	
7) U3棟エレベーター新設及び周辺手摺設置	79	便利さ	39%	0.4	79	46%	0.4	
8) ウェストフロント新築(郵便局等、平成19年度整備)	86	便利さ	64%	0.8	82	78%	1.2	
9) 彩都口整備(平成21年度整備)	50	通行しやすさ	56%	0.6	49	59%	0.8	
10) 各所バリアフリー(スロープ・扉改修等)整備(平成21年度)	51	通行しやすさ	49%	0.6	51	37%	0.4	
平均値	-	-	55%	0.7	-	61%	0.9	



4. 改訂と今後の展開

(3) 規定的・プロジェクト的・ゾーニング的マスタープランから、より骨格的・手続き的なフレームワークへ

- ・ **時代や状況の変遷により陳腐化することは重要ではない**
 - ・ 規定的デザインコードやゾーニングは、古くなりやすい
 - ・ 年次計画的なものは、状況が変わると使えなくなる場合がある
 - ・ 整備の進捗等により状況も変わる
- ・ **空間骨格の特長や、問題点を押さえておくことが重要**
- ・ **計画 → 整備の流れの中での手続きが重要**
 - ・ 予算要求用の計画図作成時点（各部局の認知が課題）
 - ・ 実施設計時の「キャンパスデザイン会議」
 - ・ 何をどの時点で確認するのか（できるだけ上流での検討）



まとめ

1. キャンパスマスタープラン策定の意義
2. 策定と運用のプロセスと体制
3. 派生する様々な問題への対応
4. 改訂と今後の展開

… マスタープランとは、要素還元的に捉えにくい
様々な側面をもつキャンパス全体計画に対する、
「考え方の作法」である と考えています。

御静聴ありがとうございました。

